

# ML-TS,FS型 電動弁

製品記号 MLTS-FD(ねじ込)  
MLFS-BD(フランジ)

単座二方弁

ML-TS型(ねじ込)、ML-FS型(フランジ)電動弁は、冷温水、油、蒸気、各種ガス等の流量制御に使用します。弁特性は、ON-OFF特性とリニア特性とがあり、二位置制御ではON-OFF特性、比例制御ではリニア特性を使用します。この弁は、単座弁のため、漏洩量が小さく設計されています。ただし適用差圧限界が小さく、高差圧では使用できませんのでご注意ください。



ML-TS型



ML-FS型

## ■特徴

- 漏洩量が小さい単座弁です。
- 弁開閉によるウォータハンマが起これにくい作動特性です。

## ■仕様

型式	ML-TS型	ML-FS型
製品記号	MLTS-FD	MLFS-BD
適用流体	水・温水・油 <sup>注1</sup> ・気体 <sup>注2</sup>	
定格圧力	1.0MPa	
流体温度	100℃以下 <sup>注2</sup>	
周囲温度	-10~60℃	
プラグ特性	ON-OFF、リニア(イコールパーセント)	
許容漏洩量	定格流量の0.01%以下	
保護構造	防塵形・屋内用 <sup>注3</sup>	
端接続	JIS Rcねじ	JIS 10K FFフランジ
材質	本体(CAC406)、要部(CAC406) <sup>注4</sup>	本体(FC <sup>注5</sup> )、要部(CAC406) <sup>注4</sup>
本体耐圧試験	水圧にて1.5MPa	

注1. 燃料油および、ガソリン・軽油用の場合はご使用先(国土交通省、防衛省など)によっては、本体材質の指定がある場合がありますので、ご確認の上、材質をご指示願います。  
注2. 蒸気用(流体温度180℃以下)も製作しています。  
注3. 屋外設置用の防雨カバー付も製作しています。  
注4. テフロンディスクも製作しています。  
注5. 本体CAC、SCS製も製作しています。  
注6. 駆動部の仕様、回路図等は401、402頁をご参照ください。

## ■寸法表 ML-TS型

呼び径	d	L	G	H	質量(kg)
15	1/2	63	17	359(398)	7.4
20	3/4	80	32	367(406)	7.6
25	1	90	36	372(411)	8
32	1 1/4	106	44	397(436)	9
40	1 1/2	118	50	409(448)	9.7
50	2	140	47	428(467)	12

注。( )内は比例式の寸法です。

## ■寸法表 ML-FS型

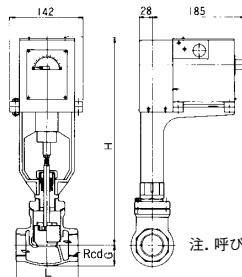
呼び径	L	G	H	質量(kg)
15	112	51	386(425)	11.1
20	125	56	390(429)	11.6
25	140	61	395(434)	13.4
32	160	67	398(437)	14.7
40	180	72	417(456)	16.3
50	200	82	426(465)	19.9
65	270	120	443(482)	35.5
80	290	141	463(502)	40.5
100	350	160	483(522)	61.5

注。( )内は比例式の寸法です。

フランジ規格 JIS 10K FF

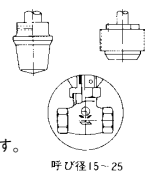
## ■構造図

### ML-TS型



### 弁体形状

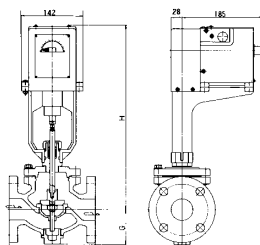
リニアプラグ ON-OFFプラグ



注. 呼び径により構造が多少異なります。

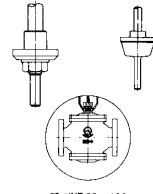
呼び径15-25

### ML-FS型



### 弁体形状

ON-OFFプラグ リニアプラグ



呼び径65-100

## ■Cv値および適用差圧限界表

呼び径	Cv値	適用差圧限界(MPa)
15	3.6	1.0
20	6.4	1.0
25	10	1.0
32	16	0.75
40	25	0.45
50	40	0.3
65	67	0.18
80	102	0.12
100	160	0.06

注. 呼び径65以上はML-FS型のみです。

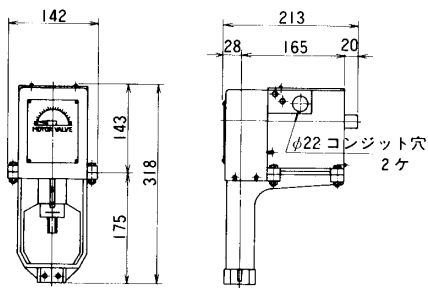
資料/ML型 電動弁



モータ

■外形図

二位置式 (ON-OFF式)



モータ

■特徴

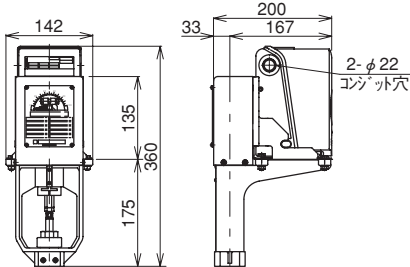
- 入力信号に合わせ4種のアクチュエータを用意しております。
- 消費電力が少なく省エネルギー型です。
- モータおよび弁座に過大な力が加わらない様、駆動部に緩衝機構を組込んでいます。
- 弁の開度が容易に読み取れる指針と目盛板がついています。

■仕様

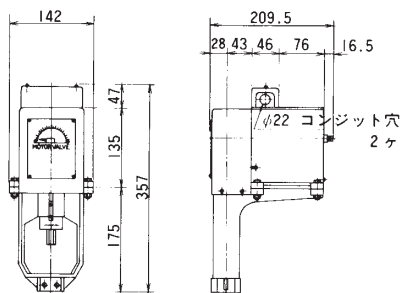
制御方式	ON-OFF式	比例式		
		Aモータ	Bモータ 注1,2.	Cモータ
入力信号	リレー接点	ポテンシオメータ (135Ω)	リレー接点	DC4~20mA
定格電圧	AC24V 50/60Hz 注3.			
消費電力	17W	9VA	17W	9VA
タイミング(無負荷)	50Hz:40秒 60Hz:36秒	50Hz:69秒 60Hz:58秒	50Hz:40秒 60Hz:36秒	50Hz:69秒 60Hz:58秒
耐電圧試験	AC500V/min			
絶縁抵抗	10MΩ以上	5MΩ以上	10MΩ以上	5MΩ以上
周囲温度	-10~60℃			
保護構造	防塵型・屋内用 注4.			

注1. 比例式Bモータにはフィードバックポテンシオメータ(135Ω、3W)を内蔵しています。  
 注2. 比例式Bモータはフィードバックポテンシオメータ1kΩ、2kΩ、135Ω二連付も製作しています。  
 注3. ON-OFF式、比例式Bモータは、AC100V、200V専用モータも製作しています。  
 注4. 屋外設置用の防雨カバー付も製作しています。

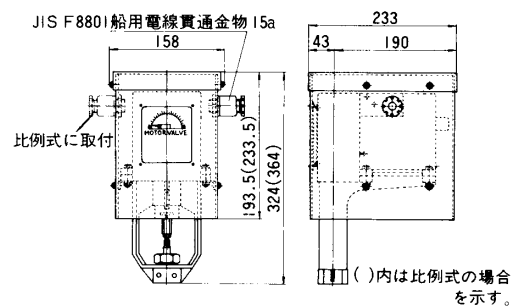
比例式A、Cモータ



比例式Bモータ



防雨カバー付(二位置式・比例式Bモータ)

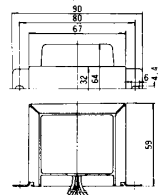


変圧器

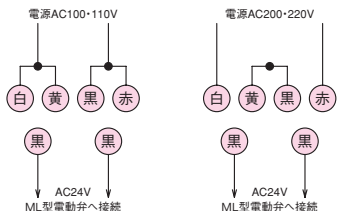
変圧器(付属品ですが内蔵ではありません。)

ML型電動弁のモータは定格電圧がAC24Vですので、付属の変圧器を用いて一般の商用電圧から降圧して使用します。

■外形図



■結線図



■仕様

一次側電圧	AC100/200V 50/60Hz AC110/220V 60Hz 注.
二次側電圧	25V(無負荷時)
定格容量	25VA
耐電圧試験	1500V/min
絶縁抵抗	100MΩ以上
配線接続	一次側・二次側共リード線
取付	M4小ねじまたはナットで制御盤等に取付けます。
質量	0.95kg

注. 一次側電圧は他の電圧についても製作しています。

# 資料/ML型 電動弁

## 制御方式

### ■二位置 (ON-OFF) 制御

二位置制御では、単極双投 (SPDT) スイッチを内蔵する二位置調節器と組み合わせて弁の二位置制御を行います。

図1で二位置調節器の接点が切り換わりモータ端子BR間またはRW間に電源AC24Vが印加されるとモータは弁の開、または閉方向に回転します。

弁が全開、または全閉になった場合は、リミットスイッチLS<sub>1</sub>、またはLS<sub>2</sub>がモータへの電源を開放し、モータが停止すると内蔵のブレーキの働きでその位置を保ちます。

モータの回転中に電源を開放するとモータは停止し、内蔵ブレーキの働きでその時点の弁開度を保ちます。

### ■比例制御

比例制御は各種比例式調節器と組合せて、その調節器の信号の変化に応じた弁の比例制御を行います。

図3は、比例式AC24V Bモータを使用し、コントロールモータ外部の比例式調節器にブリッジ回路、スイッチ回路が内蔵されている時の比例制御例です。計測体からの信号を受け、ブリッジ回路が平衡でない時にスイッチ回路の接点が閉じてモータへの電源が印加されてモータは回転します。

モータが回転すると主軸と連動しているフィードバックポテンシオメータのワイパは、ブリッジ回路が平衡になる様弁の開、閉方向にその割合だけ回転し、平衡

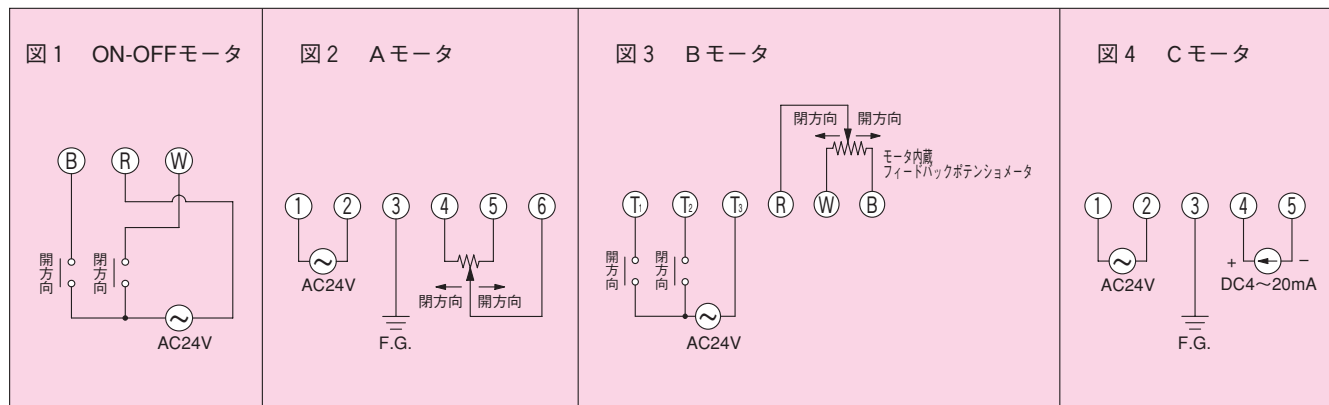
になるとバランスングリレー接点が開放され、モータは停止し内蔵ブレーキの働きによりその位置を保ちます。

弁が全開または全閉になるまでモータが回転した場合は、リミットスイッチがモータへの電源を開放し、モータを停止させ、内蔵ブレーキの働きでその位置を保ちます。

比例式調節器がブリッジ回路、スイッチ回路を内蔵していない135Ω抵抗出力形式の場合は、バランスングリレー内蔵形の比例式AC24VのAモータを使用します。

比例制御で比例式調節器信号がDC4~20mA計装統一信号の場合はCモータを使用します。

### ■結線図



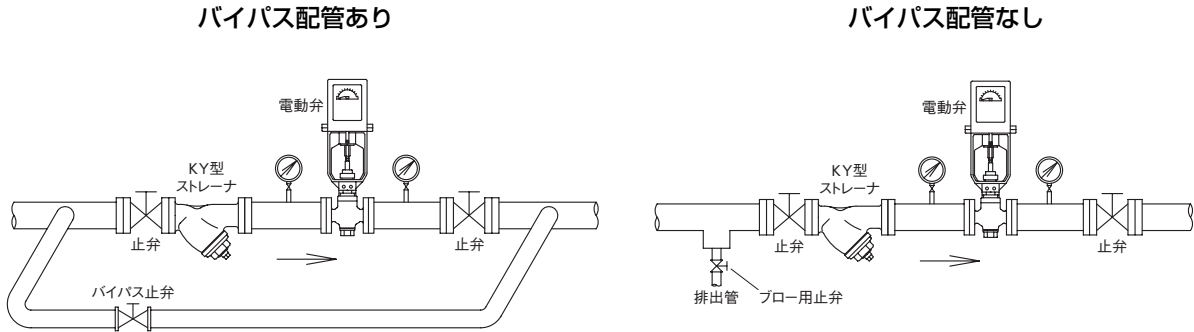
### ■特殊仕様

- 1.リミットスイッチ付：弁の全開、全閉位置にそれぞれ独立した信号取出用スイッチを内蔵したのもも製作しています。
- 2.AC100、200Vモータ：変圧器を使用せずに直接商用電圧のAC100VやAC200Vを使用できるモータも製作しています。(比例式Bモータも製作しています。)
- 3.ポテンシオメータ特殊抵抗値：ポテンシオメータ付モータのポテンシオメータ抵抗は標準の135Ωの他1kΩ、2kΩを内蔵したのもも製作しています。
- 4.ポテンシオメータ二連付：ポテンシオメータを2組内蔵したのもも製作しています。
- 5.遠隔開度指示計付：内蔵ポテンシオメータを発信器とした開度指示計付も製作しています。

# 資料/電動弁設置上のポイント

**注意** 設置時や運転に関する注意事項は、それぞれ別に用意された取扱説明書をご覧ください。

図1. 配管例略図



## ■選定、設置上のポイント

- 電動弁の一次側にストレーナを取付けてください。(図1参照)  
※網目：国土交通省仕様は、水用40メッシュ以上、蒸気用80メッシュ以上。(気体用は、80メッシュを推奨します。)
- 運転を止められない装置の場合、電動弁の一次側から二次側へのバイパス配管(止弁を設置)を設けてください。(図1参照)  
また、バイパス配管を設置しない場合は、電動弁の一次側止弁手前に主管から分岐したブロー用止弁を設置し、フラッシングができるようにしてください。
- 取付姿勢は、水平配管にモータを上にした正立、または、縦配管に使用できます。(図2参照)  
但し、縦配管に使用する場合、呼び径80以上は特にメンテナンススペースを考慮してください。
- 操作スイッチ1ヶから2台以上の電動弁を並列結線する場合には外部にリレーを設けて、リレーの接点を介して操作してください。
- 電動弁の周囲温度は各製品の仕様範囲内で使用してください。  
また、モータに悪影響を与える過度の湿気や塵埃の発生場所、腐食性ガス・引火性ガスの発生場所では使用しないでください。
- 蒸気用の場合は、配管系にスチームトラップを取付けてください。
- 流体が液体の場合、弁閉止時の周囲温度による熱膨張により、配管内が昇圧する場合があります。機器などの保護のためレリーフ弁を取付けることを推奨します。(図3参照)
- ML型電動弁は、流体の流れ方向と製品に示す流れ方向の矢印を合わせて取付けてください。
- 分解点検時には、スペースが必要です。必ずメンテナンススペースを確保してください。  
※メンテナンススペースについては、製品個々の取扱説明書にてご確認ください。
- 電動弁には、配管の荷重や無理な力・曲げおよび振動がかからないよう配管の固定や支持をしてください。
- 凍結の恐れがある場合は、水抜きや保温などをしてください。

図2. ML型電動弁  
モータ部取付姿勢

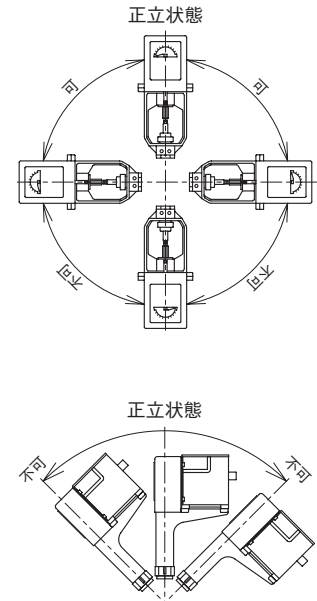


図3. レリーフ弁取付例略図

